



TAMU 連続セミナーシリーズ

イスラームへの アプローチ

宗教から考える文化と社会

外国からの訪問者の増加や人口動態の変化等に伴い、
日本は多様な価値観への対応が求められる時代を迎えています。
2050年には全世界の人口の約3割がイスラーム教徒と言われるなか、
日本社会がイスラームについて理解を深めることは、ますます重要となっていくでしょう。
国際交流基金アジアセンターでは、世界のイスラーム教徒人口のおよそ半数が暮らす東南アジアに着目し、
同地域のムスリム社会や、日本とイスラームの関わりをテーマとした4回の連続セミナーシリーズを開催します。
本事業を通し、イスラームについての理解を深めながら、
異なる文化や価値観を認めあえる社会のあり方についても考えます。

-
- 第1回 2019
12/4 Wed.
「日本とイスラームの出会い」〈講演会〉
大川 玲子 明治学院大学国際学部教授
-
- 第2回 2020
1/24 Fri.
「映画から読み解く東南アジアのイスラーム -マレーシアを中心に-」〈参考上映・講演会〉
山本 博之 京都大学東南アジア地域研究研究所准教授
参考上映作品:「ムアラフー改心」(Muallaf / 監督 ヤスミン・アフマド / マレーシア / 87分 / DVD)
-
- 第3回 2020
2/27 Thu.
「多様なイスラームのすがたと日本の未来」〈シンポジウム〉
野中 葉 慶應義塾大学総合政策学部准教授、 アサディ みわ 静岡ムスリム協会事務局長、 小川 忠 跡見学園女子大学教授ほか
※東南アジアからもゲストスピーカーが登場予定
-
- 第4回 2020
3/18 Wed.
「ヤングムスリムたちの挑戦」〈講演会〉
クレシ 愛民 olive co-founder
-

会場:国際交流基金 ホール[さくら]、国際文化会館 岩崎小彌太記念ホール

※開催日時によって会場が異なります。裏面をご覧ください。

入場無料・事前申し込み制

講演会:日本語、シンポジウム:日英同時通訳

詳細はこちらよりご確認ください。



ASIAcenter
JAPAN FOUNDATION

主催:国際交流基金アジアセンター





TAMU連続セミナーシリーズ イスラームへの アプローチ 宗教から考える文化と社会

第1回 講演会 「日本とイスラームの出会い」

日本語

2019年12月4日[水] 18:00-19:30(開場17:30) 国際交流基金 ホール[さくら]



大川 玲子
Reiko Okawa
明治学院大学
国際学部
教授

専門はイスラーム学、特に聖典クルアーン(コーラン)の解釈史を研究してきた。2013年にカンボジアのムスリム(チャム人)の現地調査も行った。近著に、『クルアーン 神の言葉を誰が聞くのか』(慶応義塾大学出版会、2018年)、『チャム王国とイスラーム カンボジアにおける離散民のアイデンティティ』(平凡社、2017年)、『イスラーム化する世界 グローバリゼーション時代の宗教』(平凡社、2013年)など。

第2回 参考上映・講演会 「映画から読み解く東南アジアのイスラーム—マレーシアを中心に—」

日本語

2020年1月24日[金] 17:00-20:00(開場16:30) 国際交流基金 ホール[さくら]

参考上映作品:『ムアラフ—改心』 (Muallaf / 監督 ヤスミン・アフマド / マレーシア / 87分 / DVD / 字幕 日本語・英語)



©Orked Binti Ahmad



山本 博之
Hiroyuki Yamamoto

京都大学
東南アジア地域研究研究所
准教授

専門は東南アジア地域研究 / メディア研究。主な研究テーマは、混血性・越境と民族、映画と物語文化圏、災害対応と情報。マレーシア・サバ大学、在インドネシア・メダン総領事館などでの勤務を経て現職。編著書に『マレーシア映画の母 ヤスミン・アフマドの世界 人とその作品、継承者たち』(英明企画編集、2019年)など。混成アジア映画研究会主宰。

第3回 シンポジウム 「多様なイスラームのすがたと日本の未来」

東南アジアからも
ゲストスピーカーが
登壇予定です。

日英同時通訳

2020年2月27日[木] 17:00-20:00(開場16:30) 国際文化会館 岩崎小彌太記念ホール



野中 葉
Yo Nonaka

慶應義塾大学
総合政策学部
准教授

専門は地域研究(インドネシア)。主な関心は同地域におけるイスラームの受容と広がり。2011年、慶應義塾大学政策・メディア研究科後期博士課程修了。博士(政策・メディア)。業績に『インドネシアのムスリムファッション—なぜイスラームの女性たちのヴェールはカラフルになったのか』(福村出版、2015)、『イスラーム短編小説の広がり』とインドネシアの女性たちのイスラーム覚醒』(東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所「アジア・アフリカ言語文化研究」87号、2014)など。



アサディ みわ
Miwa Essaadi

静岡ムスリム協会
事務局長

米国ポートランド州立大学大学院公共行政学修士。24歳の時に、単身でイスラームに入信。子育てを通じ、日本で暮らすムスリムとして社会と積極的に関わっている。イスラームやムスリムの実生活を紹介する講演多数。観光、食、多文化共生分野における関心が高い。アイ・ソリューションズ代表。ふじのくにしずおか観光振興アドバイザー。



小川 忠
Tadashi Ogawa

跡見学園女子大学
教授

1982年に国際交流基金入社。ニューデリー事務所長、ジャカルタ日本文化センター所長等を歴任し、2017年より跡見学園女子大学教授。国際交流政策、アジア現代文化、比較宗教社会等を研究。著書に『インドネシア イスラーム大国の変貌』(新潮選書、2016年)、『戦後米国の沖縄文化戦略』(岩波書店、2012年)、『テロと救済の原理主義』(新潮選書、2007年)、『インドネシア 多民族国家の模索』(岩波新書、1993年)他。

第4回 講演会 「ヤングムスリムたちの挑戦」

日本語

2020年3月18日[水] 18:00-19:30(開場17:30) 国際交流基金 ホール[さくら]



クレス 愛民
Amin Qureshi

olive co-founder
(olive 共同創始者)

早稲田大学大学院修士課程修了 / 現在、滞日ムスリム調査プロジェクト(早稲田大学アジア社会論研究室)・調査アシスタント。ヤングムスリムにとっての日本社会とイスラームに着目する。大学やイスラーム団体などで講演を行い、国内外のムスリムコミュニティとの連携を図る。2016年設立のSpace for Young Muslimsを、「日本中のヤングムスリムが楽しく幸せであるように」をモットーとするoliveとして2019年に再編成。

TAMU連続セミナーシリーズ

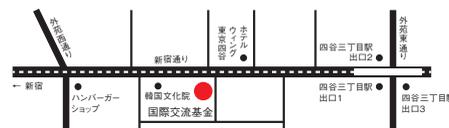
TAMU(Talk with Muslims/東南アジア・ムスリム青年との対話)は、東南アジアの若手ムスリムを日本に招へいし、日本の青年層との交流を通して、東南アジアの文化とイスラームに対する理解を促進する事業です。本セミナーシリーズはTAMUのフォローアップ事業として実施します。

国際交流基金アジアセンター

国際交流基金(The Japan Foundation)は、全世界を対象に総合的に国際文化交流を実施する日本で唯一の専門機関です。アジアセンターでは、ASEAN諸国を中心にアジアの人々の間に共感や共生の心を育むため、様々な分野で文化交流事業を実施しています。

お知らせ

各回の詳細は、アジアセンターのウェブサイトにて随時更新予定です。



国際交流基金 ホール[さくら] 東京都新宿区四谷4-4-1
東京メトロ丸ノ内線 四谷三丁目駅から徒歩3分



国際文化会館 東京都港区六本木5-11-6
都営大江戸線 麻布十番駅7番出口より徒歩5分
東京メトロ南北線 麻布十番駅4番出口より徒歩8分
東京メトロ日比谷線 六本木駅3番出口より徒歩10分